

謝恩価格本販売フェア4/20から開始!	1
上野の森 親子ブックフェスタGWに開催	2
第57回全出版人大会	2
IPA大会ニューデリーの報告	2

## 謝恩価格本販売フェア 4月20日から開催!

日本書籍出版協会（相賀昌宏理事長）は、再販制度の弾力運用の一環として、「子どもの読書週間」を中心にした、4月20日（金）正午から6月20日（水）までの2ヵ月間、インターネット限定での第29回「出版社共同企画 期間限定 謝恩価格本販売フェア」を開催する。今回は91社（予定）の約1150点を本体価格の45%引きで販売する。

◆公式サイト <http://www.bargainbook.jp>  
(バーゲンブック.jp)

### ◆販売サイト

<http://books.rakuten.co.jp/event/book/bargain/shaon/>  
(販売サイトは楽天ブックス内に設置。4/20・正午よりサイトへのアクセス開始)

今回も注文書籍は楽天ブックスを通して販売する。点数にかかわらず送料は無料。代引きの場合は、別途手数料305円（税込）、コンビニ店頭支払いの場合は、別途手数料265円（税込）があわせて購入者負担となる（クレジットカード決済の場合、手数料は無料）。

今回も各種SNSを活用しながら読者に宣伝し、売上向上を目指す。以下は各SNSのURL。

◆Facebook <http://on.fb.me/1v9yO3Q>  
Twitter <https://twitter.com/shaonkakaku>  
読書メーター <http://bookmeter.com/u/310967>

フェアへの参加予定出版社は以下の通り。

アイ・ケイコーポレーション、あかね書房、朝倉書店、飛鳥新社、イースト・プレス、和泉書院、岩崎書店、潮出版社、エクシア出版、NHK出版、演劇出版社、化学同人、学芸出版社、笠倉出版社、KADOKAWA、河出書房新社、かんき出版、関西大学出版部、求龍堂、響文社、金の星社、くもん出版、芸術新聞社、幻戯書房、研究社、玄光社、現代数学社、好学社、講談社、

光文社、国土社、語研、小峰書店、三省堂、Jリサーチ出版、JDC出版、JTBパブリッシング、清水書院、集英社、出版ニュース社、出版文化社、主婦と生活社、小学館、祥伝社、女子栄養大学出版部、新建新聞社、新星出版社、鈴木出版、青弓社、青幻舎、青土社、聖パウロ女子修道会（女子パウロ会）、誠文堂新光社、世界文化社、創元社、総合科学出版、第三書房、大修館書店、大和書房、玉川大学出版部、淡交社、筑摩書房、中央公論新社、T0ブックス、ディスカヴァー・トゥエンティワン、東京ニュース通信社、東洋館出版社、日刊工業新聞社、日本ヴォーグ社、日本機関紙出版センター、日本教文社、早川書房、ハンナ、万来舎、PHP研究所、ひかりのくに、檜書店、フォレスト出版、扶桑社、プチグラパブリッシング、復刊ドットコム、文藝春秋、文研出版、ベレ出版、ポット出版、ポプラ社、ほるぷ出版、毎日新聞出版、光村教育図書、宮帯出版社、森北出版

(問合せ 日本書籍出版協会 Tel 03-3268-1303)

## 上野の森 親子ブックフェスタ2018 GW(5/3~5)に開催!

「上野の森 親子ブックフェスタ2018」（主催：子どもの読書推進会議、日本児童図書出版協会、出版文化産業振興財団（=JPIC））が、5月3日（木）から5日（土）の3日間、台東区・上野恩賜公園にて開催される。18回目となる今年から、名称を「上野の森 親子ブックフェスタ」と改め、例年通り5月のゴールデンウィークに開催する。

中央噴水池広場では子どものためのブック・フェスティバルを展開し、児童書出版社を中心に75社（64テント）が約5万冊を読者謝恩価格で販売する。そのほか、イベント会場では全国を巡回している講談社のキャラバンカー「全国訪問おはなし隊」が紙芝居や読みきかせを行い、ブック・フェスティバルのイベントテント内では絵本の読みきかせやおはなし会、絵本作家のサイン会なども期間中に行われる予定である。また、『赤い

鳥』創刊100年にあたる今年は、国際子ども図書館で「『赤い鳥』を学ぶ」と題した記念講演会が開かれる。その他、東京都美術館、国際子ども図書館で、講演会やトークイベント（入場無料・事前申込制）が実施される。

<イベント・スケジュール>

#### ◆東京都美術館

5/3（木）11:00～12:30 **ビブリオバトル&トーク**

**児童文学作家五人のおすすめ本** 発言者：赤羽じゅんこ（児童文学作家）、松本聡美（児童文学作家）、おおぎやなぎちか（児童文学作家）、森川成美（児童文学作家）、濱野京子（児童文学作家）

14:30～16:00 **元気は自分で作れる！からだの元気大作戦！～光・暗闇・外遊びのすすめ～** 野井真吾（日本体育大学体育学部教授）

5/4（金）11:00～12:30 **絵本と音楽とマジック～子どもが輝く参加型絵本の世界～** 大友剛（翻訳家&ミュージシャン&マジシャン）

14:30～16:00 講演会&ワークショップイベント「**描場（KAKIBA）in 上野の森**」 黒田征太郎（イラストレーター）

5/5（土）11:00～12:30 光文社古典新訳文庫全7巻完結記念『**ナルニア国物語**』の魅力を語りあう 土屋京子（翻訳家）、金原瑞人（法政大学社会学部教授）

#### ◆国際子ども図書館研修室

5/5（土）13:30～16:00 『赤い鳥』創刊100年記念講演会『**赤い鳥**』を学ぶ 関口安義（都留文科大学名誉教授）、遠山光嗣（新美南吉記念館学芸員）

JPICホームページ（<http://www.jpica.or.jp/>）よりイベントへの参加申し込みが可能（締切4/15）。

（詳細問合せ JPIC TEL 03-5211-7282）

### 第57回全出版人大会

出版文化の昂揚を図り、業界の発展を期するとともに、業界に携わった長寿者（70歳以上の役員対象）39名、永年勤続者（勤続15年以上の従業員対象）314名を表彰する全出版人大会（主催：日本出版クラブ）は、南條光章氏（共立出版社社長）を大会委員長に、5月8日（火）午後3時よりホテルニューオータニ・鶴の間（千代田区紀尾井町）にて開催する。式典の後、同会場にて、午後4時半から懇親パーティーが行われる。

（日本出版クラブ TEL 03-3260-5271）

## 国際出版連合 第32回ニューデリー大会開催

国際出版連合（IPA、本部＝ジュネーブ）の第32回大会が2月11日～13日の三日間、インド・ニューデリーで開催され、著作権や出版の自由等に関する計15のセッションが開催された。

IPAは1896年にパリで設立。出版の自由、著作権の保護等を目的とする非政府組織で、国際連合の諮問的機関でもある。現在、会長をミヒール・コールマン氏（オランダ）、副会長にはユーゴ・セッツァー氏（メキシコ）がそれぞれ務めている。IPAは世界約70か国の出版協会や団体等で構成されており、大会は、2年に1度開催され、国際出版界に関わる様々なテーマについて議論する場となっている。インドでの開催は、1992年以来26年振り2度目となる。日本からは、当協会常任理事の山本憲央氏等6名が参加した。

開会式は、ヴァルダン科学技術大臣、ジャヴデカル人材開発大臣らが祝辞を述べ、MコールマンIPA会長が「出版業界は受け身であることを止め、積極的に発言していくべき」との挨拶を行った。オープニングセッションには、IPA前会長のR・チャルキン氏、元会長のYS・チ氏らが参加し、チャルキン氏は「大きな環境変化を出版業界は経験したが、今こそ再び著作者の力に目を向けるべきであり、また出版者は巨大プラットフォームに対して著作権の尊重ということを教育すべきである」と述べた。

出版の自由に関するセッションでは、今年度のIPA出版の自由賞（ヴォルテール賞）を受賞した、香港の書店主・桂民海氏の娘（アンジェラ・グイ氏）がSkypeを通じて参加し、中国政府に拘束されている父親への支援を要請した。

2日目には、「出版者の社会的責任」「著作権問題への対応」「出版における自己検閲の脅威」「将来の読者の育成」「出版市場における共生」等のセッションが行われ、3日目は、「インドの出版市場」に関するセッションから始まり、「教育出版の可能性の拡大」「STM出版」「著作権の集中管理」等に関する報告と討論が行われた。閉会式では、コールマンIPA会長、ユーゴ・セッツァー同副会長が、参加のスピーカーに謝意を述べ、次回大会開催国であるノルウェー代表にIPA旗を引き継いだ。次回大会は、2020年5月にノルウェー・リレハンメルで開催される。

## 出 版 統 計

書 籍	2月期	前年同月比	1～2月期	前年同期比	書籍出回り	2月期	前年同期比	1～2月期	前年同期比
新 刊 点 数	5,442点	93.6	11,076点	101.8	推 定 出 回 部 数	9,576万冊	94.3	16,262万冊	95.5
新刊推定発行部数	2,925万冊	98.6	4,985万冊	99.2	推 定 出 回 金 額	1,141億円	95.1	1,928億円	96.4
新刊平均価格	1,113円	97.9	1,173円	99.7	推定出回平均価格	1,192円	100.8	1,185円	101.0
新刊推定発行金額	326億円	96.6	585億円	98.9	<b>実 売 部 数</b>	2月期	前年同期比	1～2月期	前年同期比
<b>月 刊 誌</b>	2月期	前年同月比	1～2月期	前年同期比	書 籍	6,215万冊	92.6	10,407万冊	95.7
発 行 銘 柄 数	2,120点	97.2	2,432点	97.2	月 刊 誌	6,218万冊	83.1	11,350万冊	85.4
推 定 発 行 部 数	11,044万冊	88.4	20,875万冊	89.9	週 刊 誌	2,439万冊	85.3	5,016万冊	86.3
平 均 価 格	636円	99.7	639円	100.9	<b>実 売 金 額</b>	2月期	前年同期比	1～2月期	前年同期比
推 定 発 行 金 額	702億円	88.1	1,334億円	90.7	書 籍	774億円	93.4	1,291億円	96.6
<b>週 刊 誌</b>	2月期	前年同月比	1～2月期	前年同期比	月 刊 誌	390億円	82.9	712億円	86.3
発 行 銘 柄 数	74点	97.4	75点	98.7	週 刊 誌	88億円	87.6	178億円	88.4
推 定 発 行 部 数	4,198冊	88.9	8,223万冊	89.4	<b>実 売 金 額 合 計</b>	1,252億円	89.5	2,181億円	92.3
平 均 価 格	368円	102.8	366円	102.8					
推 定 発 行 金 額	155億円	91.5	301億円	91.8					

- 銘柄数 月刊誌は1ヵ月、週刊誌は1週間平均の発行銘柄数
- 部数 配本されたと推定される部数。書籍出回り部数は新刊・重版の流通総量を表したものの。
- 平均価格 部数を加味した加重平均価格(税抜)
- 金額 発行部数・出回り部数を価格で換算した金額

[ 提供 出版科学研究所 (TEL03-3269-1379) ]

## EVENT INFORMATION

- 4月 8日 **参考書の日** (主催 学習参考書協会)
- 4月10日 **教科書の日** (主催 教科書協会)
- 4月18日～19日 書協主催 **新入社員研修会**
- 4月20日～30日 **春の書店くじ** (第22回)  
 当選発表 5月25日(金) 日書連HP、書店店頭ポスター  
 (主催 日本書店商業組合連合会)
- 4月20日～6月20日 **期間限定 謝恩価格本販売フェア**  
 内容 92社・約1150点が本体価格の45%引きで販売  
<http://www.bargainbook.jp>
- 4月23日 **世界本の日 サン＝ジョルディの日**
- 4月23日～5月12日 **こどもの読書週間** (第60回)  
 標語「はじまるよ! 本のカーニバル」  
 主催 読書推進運動協議会 (03-3260-3071)
- 4月30日 **図書館記念日** (主催 日本図書館協会)
- 5月8日 **全出版人大会** (主催 日本出版クラブ)

## 編集後記

先日飛行機に乗った時、若い男性が単行本を読んでいる姿が印象的でした。ゲーム機やスマホを手にしている大勢の中、その男性の周りだけ時間の流れがゆったりとみえて、素敵でした。(あ)

昨年秋の全国図書館大会で、当協会が主催した第21分科会の記録集が今月発行します。図書館における文庫本の取り扱いについて、出版関係者、図書館研究者が様々な視点で議論を交わります。後日、発行の詳細をご報告したいと思います!(吉)

一般社団法人 日本書籍出版協会

発行人: 中町英樹

〒162-0828 東京都新宿区袋町6

TEL:03-3268-1301

FAX:03-3268-1196

**Web サイトもご覧ください**

<http://www.jbpa.or.jp>